

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	25	05	高津区放置自転車対策事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			676100		道路公園センター 管理課		山本 行範	74500	

事業の概要								
事業の概要		・自転車等放置禁止区域における自転車等の計画的な撤去活動と自転車等放置に関する啓発活動を継続して行う ・新たな駐輪場施設の整備に係る調整を行う						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業費			
		平成22年度	—					
地域の課題と現状		主に武蔵溝ノ口駅北口周辺での放置自転車は昼夜を問わず放置されている。定期的に撤去活動を行っているが追いつかず放置されている。自転車に乗ることは運転することであり、駐車をするには決められた場所に駐輪することを啓発しているが浸透されないでいるので、これを解決するのが大きな課題である。						
予決算 (単位:千円)		年度	2015年度		2016年度		2017年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	455	408	688	619		
		財源内訳						
		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	455	408	688	619		

計画 (Plan)	
事業の目的	自転車等放置禁止区域に指定されている6駅(武蔵溝ノ口駅・梶が谷駅・高津駅・久地駅・津田山駅・二子新地駅)を中心に、放置自転車等の撤去活動を行うとともに、広報・啓発活動を行い、より効果的に自転車等の放置を防止する。
今年度の事業の取組内容	高津区内における主要鉄道駅の自転車等放置禁止区域内の自転車放置を防止し、安心・安全で住みやすいまちづくりを推進するため、自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上実施するとともに、駐輪場施設への誘導と放置・駐輪に係る警告・啓発を行う。 また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等による普及・啓発を行う。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	高津区内における主要鉄道駅の自転車等放置禁止区域内の自転車放置を防止し、安心・安全で住みやすいまちづくりを推進するため、自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去を週4日以上実施し、駐輪場施設への誘導と放置・駐輪に係る警告・啓発を行った。 また、放置自転車防止に向けたキャンペーン等による普及・啓発を行った。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	啓発活動の一環として、啓発用品を鉄道駅にて提示した	目標 実績	12 12		枚
	2	活動指標	啓発活動の一環として、路上施設に掲示した	目標 実績	13 0	13	枚
	3			目標 実績			
	4			目標 実績			

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	自転車は誰でも簡単に乗れる大変便利な乗り物であるため、交通規則を守らなければならない意識が薄く、歩道や路肩に安易に駐輪する、駐輪してもよいとする考えが根底にあり続け、撤去や啓発を行っても利便性を追求するばかりで、交通安全に関する意識が全く無い。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	放置自転車の撤去や放置禁止区域であることを啓発しても限界があることから、今まで行われなかった地域住民や関係町内会等と協議して、放置されやすい場所や恐れがある場所を確認した。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	利便性を追求するので、「少しなら」の意識が強いままであるため、事業に対するニーズはまだまだ薄れていない。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	利便性を追求するので、「少しなら」の意識が強いままである。しかし、事業の見直し・改善を行い、成果が順調に上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	啓発や撤去活動のみならず、駐輪されないような方法を考案する必要があり、予算・人的措置等が必要である。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	25	10	高津安全・安心まちづくり支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			670000		危機管理担当		佐藤・窪田	64353	

事業の概要							
事業の概要		地域住民による自主防犯活動を支援し活動の活性化を図るとともに、防犯キャンペーン等の啓発活動を通して区民の防犯意識の向上を図ることにより、地域の安全・安心の確保につなげていく。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業費		
		平成15年度	—				
地域の課題と現状		地域の安全・安心を確保するためには、地域住民による「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識付けが重要となる。そのため、地域団体や警察と連携の上、地域住民による自主防犯活動の支援や防犯キャンペーン等の啓発活動の実施を通して、安全・安心に暮らせるまちづくりの実現を目指す。					
予決算 (単位:千円)		H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
事業費		715	714	811	734		
財源内訳							
国庫支出金							
市債							
その他特財							
一般財源		715	714	811	734		

計画 (Plan)	
事業の目的	自主防犯活動の支援や防犯キャンペーンの実施により、地域の安全・安心の確保につなげていく。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回程度の防犯キャンペーンを溝のロキリデッキやボレボレ通りでチラシ配りや声掛けを行い啓発する。 防犯パトロール隊活動報告会を2団体ほど活動内容の発表を行いパトロールの重要性を確認する。また宮前区との合同パトロールでは、出発式のあと5ルートに別れそれぞれパトロールを行う。 警察署が作成する日毎の犯罪発生状況を掲載したフラッシュニュース等を活用した犯罪情報の提供を行う。 高津防犯パトロール隊等の自主防犯活動団体に対し、パトロール用品の貸与等の活動支援及び情報共有の推進を図る。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 防犯キャンペーンは平成28年4月、5月、6月、9月、10月(2回)、2月に警察署と連携して実施した。(毎月10日実施が原則だが、警察署の都合や雨天は実施されないことがある。) 防犯パトロール隊活動報告会は平成28年11月に約130名の参加者を集め開催した。 平成29年3月に宮前区との合同防犯パトロールを地域住民や高津防犯協会の警察署と連携して、150名の参加者がパトロール及び防犯キャンペーンを実施した。 フラッシュニュース等を活用し、適宜地域へ犯罪発生状況等の情報提供を行った。 防犯パトロール隊への貸与は、ベスト、帽子、のぼり旗等約130品行った。 						
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
1	成果指標	防犯キャンペーンの開催回数	目標		12		回	
			実績	6	7			
	2	成果指標	防犯パトロール隊活動報告会	目標		1		回
				実績	1	1		
3	成果指標	宮前区との合同防犯パトロール	目標		1		回	
			実績	1	1			
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		犯罪件数が大幅に減少しないのは、犯罪させない、しにくいまちづくりがもつと必要であることを意味している。区民ひとりひとりに積極的に働きかけ、ひとりでも多くの区民が防犯に対する意識を高めることが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		還付金詐欺等の予兆電話が増加傾向にあるため、警察署と協力して区役所来庁者へ防犯の放送を行うことにした。	
		評価項目	評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	犯罪件数が大幅に減少していないことから、ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	犯罪させない、しにくいまちづくりのため、区民ひとりひとりの防犯に対する意識が高まっていることから一定の成果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	防犯関係団体と協議を行い、情報提供のしき目を簡素化し業務負担の見直しを進めていく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回程度の防犯キャンペーンは、警察署と連携をして回数を増加させていく。 警察署からの情報が速やかに伝達できるようにしき目の統一化を図っていく。 犯罪させない、しにくいまちづくりのため、町内会・自治会の行事に参加して、防犯意識を広めていく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	25	15	交通安全の普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			670000		危機管理担当			佐藤・窪田	64353

事業の概要									
事業の概要		区民、地域団体、行政機関などが連携し、交通安全キャンペーンや交通安全教室等の啓発活動を行うことにより、区民の交通安全意識の向上を図り、交通事故防止につなげていく。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業費				
		平成24年度	—						
地域の課題と現状		区内の交通事故件数は減少傾向にあるものの、高津区において比率の高い二輪車事故、高齢者関係事故、自転車事故等を中心に、依然として多くの交通事故が発生している。そのため、地域住民、関係団体、事業者、警察及び行政等が連携し、継続的・効率的に啓発活動に取り組むことにより、区民の交通安全意識の向上を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	1,202	1,176	1,576	1,404			
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	1,202	1,176	1,576	1,404			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民の交通安全意識の向上を図り、交通事故防止につなげていく。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回主要交差点にて「まちかど交通安全アピール活動」を実施する他、年4回の交通安全運動期間に溝の口駅キラリデッキで交通安全キャンペーンを実施し、歩行者や通行車両に交通安全を訴え、交通事故防止を広く呼び掛ける。 ・区内の各小学校において、各交通安全団体と連携して入学式に出席する親子に啓発物を配布して、交通安全の重要性(大切さ)を訴える。 ・中学生を対象にスクエアドストレート方式の交通安全教室を開催する。また、敬老会でも高齢者への啓発を行う。 ・30代、40代の保護者向けにPTAと連携した自転車交通安全講習会を実施する。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った				
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った				
		3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回「まちかど交通安全アピール活動」を行い、歩行者に啓発物を配布しながら交通安全を訴えた。また、年4回の交通安全運動期間に溝の口駅キラリデッキにおいて交通安全キャンペーンを実施した。 ・新入学児童への啓発活動として、高津区交通安全対策協議会の構成団体との協力・連携のもと入学式に出席する親子に啓発物・チラシを配布し、交通安全について呼びかけを行った。 ・区内中学校3校でスクエアドストレート方式の交通安全教室を、練オフィスワイルドへ委託して開催した。また、区の敬老会の集まりで高齢者への呼びかけも行い、啓発活動を行った。 ・PTAと連携した自転車交通安全講習会では、児童とその保護者に自転車交通ルールとマナーについて学習した。年2回行い約120名参加した。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	交通安全教室開催回数(幼稚園・保育園)	目標	28	28		回
			実績	28	28		
	2 成果指標	交通安全教室開催回数(小学校)	目標		31		回
			実績	31	31		
3 成果指標	交通安全教室開催回数(中学校・高等学校)	目標		3		回	
		実績	3	3			
4 成果指標	交通安全教室開催回数(企業・その他)	目標		8		回	
		実績	0	13			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	交通事故件数が、大幅に減少しないのは、大人たちが交通ルールを知らないまま、電動自転車等を使用していることも原因であり、交通安全教室を受講する機会がないなどの状況から、対象者を広げていくことが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	今年度から、警察署と協力して企業等への交通安全講和等を行うようにした。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	交通事故件数は、やや減少傾向にあるが、児童・生徒の事故は必ず起きていることからニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	交通安全教室に参加する幼稚園・保育園等が増加していることから一定の成果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	交通関係団体と協議を行い、役割を一部担っていただく等業務の見直しの改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故ゼロを目指す、年4回の交通安全キャンペーンでは、交通安全の意識高揚を図るイベントとなるように、内容を検討・工夫し、引き続き実施していく。 ・中学生、高校生、高齢者等を対象とした、スクエアドストレートでは、事故の再現だけでなく、車側からの歩行者の見え方も確認して安全を確保することも学習していく。 ・自転車交通安全講習会では、講習会の開催数を増加させていく。 		

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	25	20	高津区防災まちづくり推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			670000		危機管理担当		牛島	64353	

事業の概要

事業の概要	「自助」「共助」「公助」の観点から、またネットワークの強化の観点から、地域防災力向上を図る施策を実施し、災害に強い高津区のまちづくりを推進する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業費				
	平成21年度	—						
地域の課題と現状	区民生活にかかわるニーズ調査(H24)では、多くの区民が大規模地震に関する不安を感じている一方で、家庭での備蓄や地域の防災訓練への参加状況など、意識と行動の間には差異があり、これを埋めるための効果的な取組が必要である。また、高津区の特徴として土砂災害警戒区域や想定浸水区域が多いこと、大規模地震発生時の溝口駅周辺での帰宅困難者等の対策が必要であることを踏まえた対策が必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	4,110	3,999	10,746	6,797			
	財源内訳	国庫支出金			3,722	1,584		
		市債						
その他特財								
一般財源	4,110	3,999	7,024	5,213				

計画 (Plan)

事業の目的	「自助・共助・公助、それぞれの強化による地域防災力の向上」と「区の特徴に配慮し、官民のネットワークを活かしたオール高津区での災害対策の推進」を図る。
今年度の事業の取組内容	風水害における地域防災力の強化に向け、自主防災組織及び避難所運営会議の活性化に向けた支援を実施する。また、国の「都市安全確保促進事業」に基づくエリア防災計画の策定に向けた基礎調査等を実施する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 久末小、東橋中、子母口小をはじめとした12箇所の避難所運営会議について、避難所開設・運営訓練を実施 「溝口駅周辺地域エリア防災計画」策定に向けた基礎調査を実施 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	活動指標 避難所運営会議の活性化に向けた、新たな支援の実施	目標		3		箇所
			実績	0	12		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	熊本地震や台風第10号による豪雨災害などを受け、自助・共助・公助の強化に向けた取組をさらに推進する必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	新たに、自主防災組織・避難所運営会議の強化に向けた取組やエリア防災計画策定に向けた取組を実施		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の自然災害の発生状況を受け、防災全体に対するニーズは高まっていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	自主防災組織の実施状況や避難所開設運営訓練への参加状況などから、一定の成果があったと思われる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	行政・住民が防災の知識・スキルを向上させていくことにより、自主的な活動の強化が見込まれ、将来的に効率的・効果的な事業実施に繋がるものと考えられる。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	社会全体として自然災害に対する意識が向上してきた一方で、時間の経過とともに、その低下が懸念されることから、継続的な啓発の実施や新たな担い手の育成等に取り組む。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	25	05	45	ネズミ駆除相談対応事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675300		衛生課			片岡	64563

事業の概要							
事業の概要		現在、区役所衛生課では、ネズミによる被害に対し、電話および窓口における駆除相談、ネズミ駆除用捕獲カゴの貸出し、駆除業者の紹介等の対応を行っている。今年度はこれらに加え、駆除業者等を講師にむかえてネズミ駆除方法を教授するなどの実践的な講習会の開催、啓発資料の充実等により、区民等の自己解決能力の向上を目指す。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業費		
		平成28年度	平成28年度				
地域の課題と現状		市民からのネズミに関する相談はそ族昆虫の中で特に件数が多く(平成25～27年度の過去3年間で373件)、捕獲カゴ等の器具を貸与しても成果が得られないことが多いことから、区民へ詳しい駆除方法等を啓発する必要がある。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	0	0	260	235	
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	0	0	260	235	

計画 (Plan)	
事業の目的	ネズミ駆除方法等に関する講習会を開催し、区民の自己解決能力の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	駆除業者等を講師とした講習会の開催、啓発資料等の充実

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	平成28年12月9日、10日に「自分でできる！ねずみ対策講座」を実施し、両日で71名の参加者があった。講習会への参加人数は目標を下回ったものの、参加者の感想は良好だった。参加者からは「大変参考になった」「自分で駆除してみようと思う」などのご意見を多数いただき、自己解決能力の向上につなげることができた。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	講習会の開催	目標		200		人
			実績		71		
	2 活動指標	啓発資料の作成	目標		300		部
			実績		200		
3		目標					
4		目標					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	木造家屋の老朽化等により、ネズミが家屋内に侵入する等の高齢者による相談が、常時、窓口寄せられている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	木造家屋の老朽化等により、家屋内にネズミが侵入する等の相談が常にある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	区民より、「自分で駆除してみようと思う。」との感想を頂き、自己解決能力の向上に繋がった。また、講習会を聴講し、ネズミの生態や駆除方法等の知識を獲得した職員が、区民へ適切な指導を実施することができるようになった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	講習会を聴講した区民より、参考になったとの感想を頂いた(アンケート実施)。また、講習会を聴講し、ネズミの生態や駆除方法等の知識を獲得した職員が、区民へ適切な指導を実施することができるようになった。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
本事業としては終了するが、ネズミに関する相談については、高津区だけの問題ではないため、全市的な取組が可能か検討するとともに、高齢者からの相談が多いことから、地域包括システムの「住まい」の分野として取り組めるか、今後の事業の方向性を検討する。		